

請願第2号 シルバー人材センターの安定的な 事業運営に対する支援を求める請願書

賛成討論一覧 (討論順掲載)

門原武志 議員

来年10月から導入予定の消費税のインボイス制度は、仕入れ先から受け取ったインボイスがないと仕入れ税額控除ができず納税額が増えるため、仕入れ先の事業者は取引先からインボイスの発行を求められる。シルバー人材センターが仕入れ税額控除を認められるようにするには、会員に消費税を納税してもらう必要がある。もし会員が消費税を納税しないならば、シルバー人材センターは仕入れ税額控除が認められず、配分金に含まれる消費税相当額を納税する必要が生じる。そもそもシルバー人材センターは剰余金がないため、消費税相当額を納税することになればセンターの事業運営ができなくなる。また会員に消費税を納税してもらいインボイスが発行できるようになってもらう場合は、会員の負担増となると同時に、センター職員が会員の消費税納税の相談に乗る必要が生じるなど、センターの業務に新たな負担が生じる。このような状況を起こさないためにインボイス導入中止を。

中野まさひろ 議員

高齢者の就労は、高齢者の社会参加を促し、生きがいある生活や健康の保持増進、地域社会全体の活性化、そして、高齢者の健康の保持増進による医療費や介護費用の削減に寄与するところ大であります。確かに、税の公正な納税は、国民誰もが求めるものであります。しかし、税の不公平は、富裕層の税負担率の低さこそが問題であると私は考えております。

東郷町シルバー人材センターの会員の平均年齢は75.6歳、会員一人当たりの配分金は月平均で、3万5千円ほどであると伺っております。インボイス制度によって、その10%の納税を迫ることは、就業の意欲を減退させ、そして就業の意欲減退による社会参加の減少、さらには、健康の阻害という結果を招きかねません。少額の消費税の納税を迫ることは、わずかの納税額増加と比較して、社会的なマイナスの方が大きくなることは明らかであり、本請願に賛成いたします。

山田達郎 議員

賛成討論を聞いているとインボイス制度に反対の意見ばかりですので、私はインボイス制度には賛成の立場から賛成させていただきます。その上でシルバー人材センターの安定的な事業運営に対する支援を求める事は大賛成ですので、賛成討論とさせていただきます。